

2025年度（令和7年度） 高崎経済大学大学院 学生募集要項

【 地域政策研究科 】

- 博士前期課程
地域政策専攻

- 博士後期課程
地域政策専攻

天災その他の事情により入学者選抜の実施に関して変更が生じる場合があります。
入試情報は、本学ホームページに掲載しますので、必ず確認してください。

地域政策研究科の入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

日本社会は、少子高齢化が顕在化し、地域社会・地域経済は変革を迫られている。地域社会の将来を予見しつつ、地域社会を担うリーダーの養成は不可欠である。地域政策研究科は、このような地域リーダーの養成や地域の諸問題の理論的及び実証的な解明を目的に開設されている。本研究科の目的を理解したうえで、求められる能力と意欲を有した学生及び社会人が広く国内外から入学することを期待している。本研究科の学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針を踏まえ、入学受入れの方針を次に示す。

博士前期課程

【地域政策専攻】

○求める人材像

- 1 地域政策学に関わる学士相当の専門知識を有し、これを基盤とした高度な学修及び研究を遂行する能力を有する人
- 2 地域政策学に関心を持ち、より高度な専門知識及び学術的方法論の獲得を通じて、研究者としての能力向上を目指す意欲を有する人
- 3 地域社会における諸問題の解決を図るために必要な政策形成能力及び実践的な課題解決能力の獲得を通じて、社会人としての能力向上を目指す意欲を有する人

○入学受入れの基本方針

多様な学生の受入れを進めるため、一般学生選抜、社会人学生選抜、外国人留学生選抜、学内推薦者選抜を実施する。共通問題試験により地域政策の専門知識を評価するとともに、研究計画書、面接試験等により、求める人材像に掲げる知識や能力、態度を総合的に評価し、入学受入れを選抜する。なお、面接試験は研究計画書を中心に行う。

博士後期課程

【地域政策専攻】

○求める人材像

- 1 地域政策学に関わる修士相当の専門知識を有し、これを基盤とした高度な学修及び研究を遂行する能力を有する人
- 2 地域課題の認知を通じて、政策課題の構造化を図り、高度な理論研究と問題解決型の政策創出に取り組もうとする自律的な研究者を目指す意欲を有する人
- 3 世界規模の実践的な課題を念頭に置き、幅広い教養と職務遂行上の政策知をもとに、持続可能な地域社会の構築に取り組もうとする高度専門職業人を目指す意欲を有する人

○入学受入れの基本方針

修士論文、研究計画書、口述試験等により、求める人材像に掲げる知識や能力、態度を総合的に評価し、入学受入れを選抜する。なお、口述試験は修士論文及び研究計画書を中心に行う。

【授業時間】

第 1 時 限	8 時 5 0 分 ~ 1 0 時 2 0 分
第 2 時 限	1 0 時 3 0 分 ~ 1 2 時 0 0 分
第 3 時 限	1 2 時 4 0 分 ~ 1 4 時 1 0 分
第 4 時 限	1 4 時 2 0 分 ~ 1 5 時 5 0 分
第 5 時 限	1 6 時 0 0 分 ~ 1 7 時 3 0 分
第 6 時 限	1 8 時 0 0 分 ~ 1 9 時 3 0 分
第 7 時 限	1 9 時 3 5 分 ~ 2 1 時 0 5 分

※土曜日は、第5時限までです。

目 次

地域政策研究科博士前期課程（秋季日程・春季日程）学生募集要項

I	一般学生選抜	1
II	社会人学生選抜	2
III	外国人留学生選抜	4
IV	学内推薦者選抜	5
V	事前審査	6
VI	出願手続等	7
VII	研究指導教員の概要	10

地域政策研究科博士後期課程学生募集要項

I	募集人員等	13
II	事前審査	14
III	出願手続等	15
IV	研究指導教員の概要	18

提出書類書式 ①～⑮

※提出書類は本学ホームページからダウンロードしてください。

地域政策研究科博士前期課程（秋季日程・春季日程）学生募集要項

I 一般学生選抜

- 1 募集人員 地域政策専攻 秋季日程 7人
 春季日程 若干人
 （本研究科の合格基準を満たさない場合、合格者が募集人員を下回ることがあります。）
- 2 出願資格 次の各号のいずれかに該当する者
- (1) 大学を卒業した者又は2025（令和7）年3月31日までに卒業見込みの者
 - (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は2025（令和7）年3月31日までに授与される見込みの者
 - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了し、学士の学位を取得した者又は2025（令和7）年3月31日までに取得見込みの者
 - (4) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者又は2025（令和7）年3月31日までに修了見込みの者
 - (5) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
 - (6) 本研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2025（令和7）年3月31日までに22歳に達する者
 ただし、この(6)によって出願する者は、事前審査を行いますので、後述の「V 事前審査」（6ページ）に基づく手続きをとってください。
- 注1 出願資格取得見込みで出願した者が、2025（令和7）年3月31日までに取得できないことが確定した場合は、入学を許可しません。
- 注2 出願資格(2)における学士の学位授与見込みの者とは、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものと認定された短期大学又は高等専門学校に置かれた専攻科修了見込みの者で、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に学位の授与を申請し、授与される見込みの者です。

3 選抜方法・試験科目等

入学者の選抜は、共通問題試験、研究計画書、面接試験及び提出書類により総合的に行います。

面接試験は「研究計画書」を中心に行います。

試験日（注1）		試験科目	試験時間	遅刻者入室限度（注2）
秋季日程 2024(令和6)年 9月14日(土)	春季日程 2025(令和7)年 2月16日(日)	共通問題試験	10:45～11:45	試験開始後30分(11:15)
		面接試験(注3)	12:00～	—

（注1）受験者は、午前10時15分までに試験場（高崎経済大学）に集合し、係員の指示に従ってください。

（注2）試験開始時刻に遅刻した場合は、上記遅刻者入室限度までは試験室に入室できますが、試験時間の延長はありません。

なお、遅刻により入室できなかった場合でも、入学検定料は返還しません。

（注3）面接試験の開始時刻については、志願状況等により変更となる場合があります。

共通問題試験：地域政策に関する基本的知識とその理解を問います。

4 研究領域

下記の5つの研究領域から希望する領域を選択して、入学志願票の「志望研究領域」欄に必ず記入してください。なお、希望する指導教員（10～12ページ）がいる場合は、指導教員欄に教員名を記入してください。（指導教員欄は空白でもかまいません。）

『都市・農村』 / 『産業・経営』 / 『行政・政治』 / 『環境・人間・福祉』 / 『文化・観光』

Ⅱ 社会人学生選抜

- 1 募集人員 地域政策専攻 秋季日程 10人
春季日程 若干人

(本研究科の合格基準を満たさない場合、合格者が募集人員を下回ることがあります。)

2 出願資格 次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 2025(令和7)年3月31日までに大学卒業後2年以上の職務経験を有する者
なお、以下の者も大学を卒業した者とみなす。
① 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
② 外国において、学校教育における16年の課程を修了し、学士の学位を取得した者
③ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者
④ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (2) 5年以上の職務経験を有する者で、2025(令和7)年3月31日までに大学卒業見込みの者又は出願資格(1)の①～④の資格を取得見込みの者
- (3) 本研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、5年以上の職務経験を有する者
ただし、この(3)によって出願する者は、事前審査を行いますので、後述の「V 事前審査」(6ページ)に基づく手続きをとってください。
- (4) 出願資格(1)の資格を有し、官公庁及び企業、研究所等に勤務する者で、所属機関の派遣研修制度に基づく推薦を得て、在職のまま派遣される者
- (5) 中学校「社会」、高等学校「公民」又は「地歴」の1種免許状を有し、小中学校、高等学校、教育委員会等教育関連機関で2年以上の職務経験があり、かつ現在も勤務し、専修免許取得を希望する者等で、所属長の推薦が得られる者
注1 出願資格取得見込みで出願した者が、2025(令和7)年3月31日までに取得できないことが確定した場合は、入学を許可しません。
注2 出願資格(4)(5)で出願する者は、各日程の出願期間最終日の概ね1か月前までに入試広報グループ入試チームに問い合わせてください。

3 選抜方法・試験科目等

- 入学者の選抜は、共通問題試験、研究計画書、面接試験及び提出書類により総合的に行います。出願資格(4)(5)に基づき出願する者は、書類審査と面接試験により判定します。
面接試験は「研究計画書」を中心に行います。

試験日(注1)		試験科目	試験時間	遅刻者入室限度(注2)
秋季日程 2024(令和6)年 9月14日(土)	春季日程 2025(令和7)年 2月16日(日)	共通問題試験	10:45～11:45	試験開始後30分(11:15)
		面接試験(注3)	12:00～	—

(注1) 受験者は、午前10時15分(出願資格(4)(5)に基づく受験者は午前11時30分)までに試験場(高崎経済大学)に集合し、係員の指示に従ってください。

(注2) 試験開始時刻に遅刻した場合は、上記遅刻者入室限度までは試験室に入室できますが、試験時間の延長はありません。

なお、遅刻により入室できなかった場合でも、入学検定料は返還しません。

(注3) 面接試験の開始時刻については、志願状況等により変更となる場合があります。

共通問題試験：地域政策に関する基本的知識とその理解を問います。

4 研究領域

下記の5つの研究領域から希望する領域を選択して、入学志願票の「志望研究領域」欄に必ず記入してください。なお、希望する指導教員(10～12ページ)がいる場合は、指導教員欄に教員名を記入してください。(指導教員欄は空白でもかまいません。)

『都市・農村』 / 『産業・経営』 / 『行政・政治』 / 『環境・人間・福祉』 / 『文化・観光』

5 大学院博士前期課程 長期履修制度

長期履修制度とは、社会人学生を対象に、職業を有している等の事情により2年間での修了が困難な場合、3年間の長期履修を認める制度です。

(1) 申請対象者

社会人選抜を出願した者

(2) 長期履修期間

3年

(3) 年間授業料

標準修業年限（2年）分の授業料を3で除した額

(4) 提出書類

出願時に長期履修生申請書（提出書類⑪）により申請してください。なお、提出書類⑪には、在職証明書（就労時間及び就労する曜日がわかるもの）等の修学、研究の時間が制限される事を証明する書類を添付してください。

※入学が許可された場合でも長期履修申請は不可になることもあります。

Ⅲ 外国人留学生選抜

- 1 募集人員 地域政策専攻 秋季日程 3人
春季日程 若干人

(本研究科の合格基準を満たさない場合、合格者が募集人員を下回ることがあります。)

2 出願資格 次の各号のすべてに該当する者

- (1) 日本国籍を有しない者
- (2) 日本語能力試験のN1レベルを取得していること
(日本の大学を卒業又は2025(令和7)年3月31日までに卒業見込みの者を除く)
- (3) 次の各号のいずれかに該当する者
 - ① 外国において、学校教育における16年の課程を修了し、学士の学位を取得した者又は2025(令和7)年3月31日までに取得見込みの者
 - ② 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者で、次の2つのどちらかに該当する者
 - ア 日本の大学を卒業し、学士の学位を取得した者又は2025(令和7)年3月31日までに取得見込みの者
 - イ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者又は2025(令和7)年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 大学卒業までに16年を要しない国からの外国人留学生であって、次の2つの条件を満たし、かつ、本研究科が日本国内の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
 - ア 大学教育修了後日本国内若しくは国外の大学、大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員として1年以上研究に従事した者又は2025(令和7)年3月31日までに1年以上研究に従事する見込みの者
 - イ 2025(令和7)年3月31日までに22歳に達する者
 - ④ 本研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2025(令和7)年3月31日までに22歳に達する者
ただし、出願資格③④によって出願する者は、事前審査を行いますので、後述の「V 事前審査」(6ページ)に基づく手続きをとってください。
注 出願資格取得見込みで出願した者が、2025(令和7)年3月31日までに取得できないことが確定した場合は、入学を許可しません。

3 選抜方法・試験科目等

入学者の選抜は、共通問題試験、研究計画書、面接試験及び提出書類により総合的に行います。

面接試験は「研究計画書」を中心に行います。

試験日(注1)		試験科目	試験時間	遅刻者入室限度(注2)
秋季日程 2024(令和6)年 9月14日(土)	春季日程 2025(令和7)年 2月16日(日)	共通問題試験	10:45~11:45	試験開始後30分(11:15)
		面接試験(注3)	12:00~	—

(注1) 受験者は、午前10時15分までに試験場(高崎経済大学)に集合し、係員の指示に従ってください。

(注2) 試験開始時刻に遅刻した場合は、上記遅刻者入室限度までは試験室に入室できますが、試験時間の延長はありません。

なお、遅刻により入室できなかった場合でも、入学検定料は返還しません。

(注3) 面接試験の開始時刻については、志願状況等により変更となる場合があります。

共通問題試験：地域政策に関する基本的知識とその理解を問います。

4 研究領域

下記の5つの研究領域から希望する領域を選択して、入学志願票の「志望研究領域」欄に必ず記入してください。なお、希望する指導教員(10~12ページ)がいる場合は、指導教員欄に教員名を記入してください。(指導教員欄は空白でもかまいません。)

『都市・農村』/『産業・経営』/『行政・政治』/『環境・人間・福祉』/『文化・観光』

IV 学内推薦者選抜

- 1 募集人員 地域政策専攻 秋季日程 若干人
 春季日程 若干人

2 出願資格 次の各号のすべてに該当する者

- (1) 本学地域政策学部を2025(令和7)年3月31日に卒業見込みの者で、2024(令和6)年3月までの取得科目数のうち、秀・優が半数以上である者
- (2) 志望している研究指導分野の教員から承諾を得たうえで、学部で所属している演習(ゼミナール)の担当教員から推薦を得られる者
- (3) 入学を許可された場合、本学への入学を確約できる者

※出願を希望する者は、事前に入試広報グループ入試チームに連絡してください。

3 選抜方法・試験科目等

入学者の選抜は、研究計画書、面接試験及び提出書類により総合的に行います。

試験日(注1)		試験科目	試験開始時刻(注2)
秋季日程 2024(令和6)年9月14日(土)	春季日程 2025(令和7)年2月16日(日)	面接試験(注3)	9:30~

(注1) 受験者は、午前9時15分までに試験場(高崎経済大学)に集合し、係員の指示に従ってください。

(注2) 試験開始時刻に遅刻した場合は、受験することができません。

なお、受験できなかった場合においても、入学検定料は返還しません。

(注3) 集合時刻及び試験開始時刻については、志願状況等により変更となる場合があります。

4 事前審査

学内推薦者選抜出願希望者について、出願資格の認定のため、次のとおり事前審査を行います。

(1) 提出書類

書類等	備考
① 成績単位修得及び卒業見込証明書	コピー不可
② 推薦書 ・志望している研究指導分野の教員の承諾を得たうえで、学部で所属している演習(ゼミナール)の担当教員の推薦書を提出してください。	提出書類⑭
③ 審査結果送付用封筒 ・市販の封筒(長形3号)に住所、氏名、郵便番号を明記し、「審査結果在中」と朱書きした上で、秋季日程に出願する場合は <u>344円分</u> 、春季日程に出願する場合は <u>410円分</u> の切手を貼ってください。	

- (2) 提出方法 本学所定の様式を用い、提出前に提出書類がすべてそろっていることを確認のうえ、市販の封筒(角形2号)に「地域政策研究科博士前期課程 学内推薦者選抜事前審査書類在中」と朱書きし、下記の提出先へ「持参」又は「郵送(簡易書留・速達)」してください。本学所定の様式等を使用しない場合は、受け付けません。

- (3) 提出期間 秋季日程 2024(令和6)年7月10日(水)～7月17日(水)
 春季日程 2024(令和6)年12月11日(水)～12月18日(水)
○持参の場合 午前9時から午後5時まで(土曜日、日曜日及び祝日は受付を行いません。)
○郵送の場合 各日程の提出期間最終日の午後5時【必着】

- (4) 提出先 〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300 高崎経済大学 入試広報グループ入試チーム

(5) 審査結果

事前審査の結果は、下記の日程で郵送により本人あてに通知します。

秋季日程：2024(令和6)年8月8日(木)

春季日程：2025(令和7)年1月9日(木)

(6) 出願手続

事前審査により出願資格の認定を受けた者は、本募集要項に基づく出願手続(7～8ページ)を行ってください。

V 事前審査（該当者のみ）

一般学生選拔出願資格(6)、社会人学生選拔出願資格(3)又は外国人留学生選拔出願資格(3)の③④に基づく出願希望者について、出願資格の認定のため、次のとおり事前審査を行います。

1 手続方法

(1) 提出書類

書 類 等	備 考
① 志願理由書 ・ワープロソフトで作成したもの（A4判、本文3,200字以内）。 ・学歴・職歴、卒業論文・実務経験など、これまでの学習内容、大学院で研究しようとするテーマ、解明したい事項などを具体的に記述してください。	提出書類⑮
② 学士と同等以上の学力を証明するもの ・外国人留学生選拔出願資格(3)の③④の出願希望者で、卒業証明書が発行されない場合のみ、卒業証書のコピーを使用してもかまいません。その場合、 <u>当該コピーが原本と相違ないことを証明する大使館等の公的機関による証明が必要です。</u> また、日本語訳を必ず添付してください。	卒業証書の原本は受け付けません。
③ 最終学歴の成績証明書 ・外国人留学生選拔出願資格(3)の③④の出願希望者で、成績証明書が発行されない場合のみ、成績書のコピーを使用してもかまいません。その場合、 <u>当該コピーが原本と相違ないことを証明する大使館等の公的機関による証明が必要です。</u> また、日本語訳を必ず添付してください。	成績書の原本は受け付けません。
④ 研究歴証明書 ・研究歴がある場合のみ提出してください。	提出書類⑧
⑤ 研究業績報告書 ・ワープロソフトで作成したもの。 ・研究業績がある場合のみ提出してください。	様式は問いません。
⑥ 審査結果送付用封筒 ・市販の封筒（長形3号）に住所、氏名、郵便番号を明記し、「審査結果在中」と朱書きした上で、秋季日程に出願する場合は <u>344円分</u> 、春季日程に出願する場合は <u>410円分</u> の切手を貼ってください。	

(2) 提出方法 本学所定の様式を用い、提出前に提出書類がすべてそろっていることを確認のうえ、市販の封筒（角形2号）に「地域政策研究科博士前期課程 事前審査書類在中」と朱書きし、下記の提出先へ「持参」又は「郵送（簡易書留・速達）」してください。本学所定の様式等を使用しない場合は受け付けません。

(3) 提出期間 秋季日程 2024（令和6）年 7月10日（水）～ 7月17日（水）
春季日程 2024（令和6）年 12月11日（水）～ 12月18日（水）
○持参の場合 午前9時から午後5時まで（土曜日、日曜日及び祝日は受付を行いません。）
○郵送の場合 各日程の提出期間最終日の午後5時【**必着**】

(4) 提出先 〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300 高崎経済大学 入試広報グループ入試チーム

2 審査結果

事前審査の結果は、下記の日程で郵送により本人あてに通知します。

秋季日程：2024（令和6）年8月8日（木）

春季日程：2025（令和7）年1月9日（木）

3 出願手続

事前審査により出願資格の認定を受けた者は、本募集要項に基づく出願手続（7～8ページ）を行ってください。

VI 出願手続等

1 出願手続

- (1) 出願方法 本学所定の様式を用い、提出前に提出書類がすべてそろっていることを確認のうえ、市販の封筒（角形2号）に本学ホームページからダウンロード・印刷した「出願用宛名ラベル」を貼付し、下記の出願先へ「持参」又は「郵送（簡易書留・速達）」してください。本学所定の様式等を使用しない場合は、出願を認めません。
- (2) 出願期間 秋季日程 2024（令和6）年8月16日（金）～8月23日（金）
 春季日程 2025（令和7）年1月20日（月）～1月27日（月）
○持参の場合 午前9時から午後5時まで（土曜日、日曜日及び祝日は受付を行いません。）
○郵送の場合 各日程の出願期間最終日の午後5時【必着】
- (3) 出願先 〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300 高崎経済大学 入試広報グループ入試チーム
- (4) 入学検定料 30,000円
 （本学ホームページからダウンロード・印刷した「入学検定料振込依頼書」により、金融機関（郵便局、ゆうちょ銀行除く）で納入してください。なお、振込手数料は本人負担となります。）
 ※納入した入学検定料は、どのような理由があっても返還しません。ただし、次の①又は②に該当する場合は入学検定料を返還しますので、各日程の出願期間最終日までに、入試広報グループ入試チームまで問い合わせてください（振込手数料は本人負担となります）。
 なお、①②のほか、出願を受理しなかった場合は、本学から返還手続の案内を行います。
 ① 二重に納入した場合
 ② 入学検定料の納入後、出願手続をしなかった場合
- (5) 提出書類
 下記の【志願者全員が提出する書類等】及び【該当者のみ提出する書類等】を一括して提出してください。書類がすべてそろっていない場合及び書類に不備がある場合は受け付けません。
 また、出願手続後は、提出書類の返却及び記載事項の変更は認めません。ただし、氏名・住所・電話番号に変更があった場合は、事前に連絡をした後、変更事項を「簡易書留」で入試広報グループ入試チームまで郵送してください。

【志願者全員が提出する書類等】

書 類 等	備 考
① 入学志願票 ・写真2枚（同一の写真）は、B・C票の写真貼付欄の規定にしたがって貼ってください。入学検定料の振込連絡票はD票に貼ってください。	提出書類①～③、④ ①～③は該当するものいずれか1つを使用してください。
② 卒業（見込）証明書又は独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書（学位授与申請受理証明書） ・外国人留学生選抜出願資格(3)の①の志願者で、卒業証明書が発行されない場合のみ、卒業証書のコピーを使用してもかまいません。その場合、 <u>当該コピーが原本と相違ないことを証明する大使館等の公的機関による証明が必要です。</u> また、日本語訳を必ず添付してください。	卒業証書の原本は受け付けません。 事前審査を行った方は、提出不要です。
③ 出身又は在学の大学の成績証明書 ・外国人留学生選抜出願資格(3)の①の志願者で、成績証明書が発行されない場合のみ、成績書のコピーを使用してもかまいません。その場合、 <u>当該コピーが原本と相違ないことを証明する大使館等の公的機関による証明が必要です。</u> また、日本語訳を必ず添付してください。	成績書の原本は受け付けません。 事前審査を行った方は、提出不要です。
④ 研究計画書 ・ワープロソフトで作成したもの（A4判、3頁以内）。 ・大学院で研究しようとするテーマ、解明したい事項などを具体的に記述してください。特定の研究指導を希望する場合には、研究指導教員名を明記してください。	提出書類⑦
⑤ 受験票送付用封筒 ・市販の封筒（長形3号）に住所、氏名、郵便番号を明記し、「受験票在中」と朱書きした上で、秋季日程に出願する場合は <u>344円分</u> 、春季日程に出願する場合は <u>410円分</u> の切手を貼ってください。	

【該当者のみ提出する書類等】

該 当 者	書 類 等	備 考
提出可能な志願者（全員）	研究歴証明書 ・研究歴がある場合のみ提出してください。	提出書類⑧ 事前審査を行った方は、提出不要です。
	研究業績報告書 ・ワープロソフトで作成したもの。 ・研究業績がある場合のみ提出してください。	様式は問いません。 事前審査を行った方は、提出不要です。
日本国籍を有しない者(全員)	住民票の写し ・日本国内の市区町村発行の在留資格を明記したもの ・マイナンバー（個人番号）の記載がないもの	コピー不可
	日本語能力試験の成績証明書 (N1レベルの合格がわかるもの)	コピー不可 日本の大学・大学院を卒業・修了（見込み）している者は提出不要
提出可能な一般学生	英語資格・検定試験（TOEIC・実用英語技能検定等）の合格証明書・スコアシート等 ・各実施機関の定める有効期限内のもの。 ・証明書類がある場合のみ提出してください。 (提出された証明書類は、原則返却しません)	コピー可 提出書類①の所定欄に成績・スコア及び取得年月日を記入してください。
社会人学生（全員）	職歴等証明書	提出書類⑨
社会人学生選抜試験対象者 (4)(5)出願資格者)	受験承諾書	提出書類⑩
	実務経験の専門知識・研究意欲を表明するもの	様式は問いません。
社会人学生選抜試験対象者 (4)出願資格者)	所属機関の派遣研修制度を証明する書類	
社会人学生選抜試験対象者 (5)出願資格者)	所属長の推薦書	
長期履修申請者（全員）	長期履修生申請書	提出書類⑪
	在職証明書(就労時間及び就労する曜日がわかるもの)等の修学、研究の時間が制限される事を証明する書類	様式は問いません。

- 2 試験日 秋季日程 2024（令和6）年9月14日（土）
春季日程 2025（令和7）年2月16日（日）

- 3 試験場 高崎経済大学

- 4 合格発表 秋季日程 2024（令和6）年9月20日（金）
春季日程 2025（令和7）年2月21日（金）

合格者には、郵送により本人あて（入学志願票の現住所）に合格通知書を送付します。併せて、合格発表日の午前10時から一定期間、合格者の受験番号を本学ホームページに掲載しますが、合格通知書をもって正式な通知とします。電話等での可否の問い合わせには応じません。

5 入学手続

- (1) 手続方法 入学手続期間内の決められた時刻までに、入学料を納入し、入学手続書類を下記の手続先へ「持参」又は「郵送（簡易書留・速達）」してください。詳細は、合格通知書同封の「入学手続の手引き」でお知らせします。

- (2) 手続期間 秋季日程 2024（令和6）年9月20日（金）～10月4日（金）
春季日程 2025（令和7）年2月21日（金）～3月7日（金）
○持参の場合 午前9時から午後5時まで（土曜日、日曜日及び祝日は受付を行いません。）
○郵送の場合 各日程の手続期間最終日の午後5時【必着】

(3) 手続先 〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町 1300 高崎経済大学 入試広報グループ入試チーム

(4) 入学料

納 入 金	金 額	備 考
入 学 料 (注 1)	282,000 円	高崎市内在者 (注 2) 及び本学卒業生は 141,000 円

上記の額は、2024 (令和 6) 年 4 月 1 日現在のもので、改定することがあります。納入方法等は「入学手続の手引き」でお知らせします。

(注 1) 納入した入学料は、どのような理由があっても返還しません。ただし、次の①又は②に該当する場合は入学料を返還しますので、各日程の手続期間最終日までに、入試広報グループ入試チームまで問い合わせてください (振込手数料は本人負担となります)。

① 二重に納入した場合

② 入学料の納入後、入学手続をしなかった場合

(注 2) 高崎市内在者とは、2025 (令和 7) 年 4 月 1 日現在において、本人自身、その者の配偶者又は 1 親等の親族が、引き続き 1 年以上高崎市に住所を有する者 (2024 (令和 6) 年 4 月 1 日から 2025 (令和 7) 年 4 月 1 日まで引き続き高崎市に住民登録のある者) をいいます。

なお、高崎市内在者は入学料の納入に関して確認手続があります。詳細は「入学手続の手引き」でお知らせします。

(5) 合格者が、入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失うとともに、入学辞退者として取り扱います。

6 入学料以外の入学初年度納入金

納 入 金		金 額	備 考
授業料	前 期	260,400 円	4 月徴収予定
	後 期	260,400 円	10 月徴収予定
諸 会 費 等	学生教育研究災害傷害保険料	1,750 円	入学時 (2 年間分)
	学会費	4,000 円	入学時 (2 年間分)
	後援会費 (注)	37,500 円	入学時
	同窓会費 (注)	20,000 円	入学時
小 計		63,250 円	
合 計		584,050 円	

上記の額は、2024 (令和 6) 年 4 月 1 日現在のもので、改定することがあります。改定が行われた場合には、改定後の授業料及び諸会費等が適用されます。納入方法等は、「入学手続の手引き」でお知らせします。

(注) 後援会費及び同窓会費について、すでに納入した本学卒業生 (卒業見込者も含む) は不要です。

7 個人情報の取り扱い

出願及び受験に伴う個人情報は、入学者の選抜 (統計処理などの付随する業務を含む) に使用します。また、入学者については、教務関係、学生支援関係及び授業料等徴収関係に関する業務を行うために使用します。なお、以上の業務にあたり、一部の業務を個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。

8 その他

(1) 障害のある者等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性のある志願者は、出願の前にあらかじめ入試広報グループ入試チームに相談してください。

(2) 授業料の減免又は分割納入については本学学生支援チームにお問い合わせください。

高崎経済大学 教育グループ学生支援チーム

T E L 027-344-6262 (直通)

E-mail gakusei@tcue.ac.jp

(3) 奨学金については、本学ホームページ「キャンパスライフ」－「学費・奨学金等」を確認し、詳細は、日本学生支援機構、教育グループ学生支援チーム又は出身大学等に問い合わせてください。奨学金を利用する場合は、事前に内容、時期等を関係機関で確認してください。

Ⅶ 研究指導教員の概要

入学を許可された場合には、指定された研究指導分野と併せて同担当教員の授業科目を必ず履修しなければなりません。

研究領域	研究指導分野	担当教員	演習の概要
都市・農村	都市経済学	米本 清	本演習では、都市・地域経済学（空間経済学）の手法を用いて都市の諸問題を理論的・実証的に検証するための学習・研究指導を行う。単なる例示等だけでなく、モデルやデータを用いた客観的な分析を目指す学生を主な対象とする。
	都市地理学	佐藤 英人	本演習では、都市地理学の視点から現代の都市問題を議論する。具体的には人口減少社会下における都市構造の変化を中心に、低未利用不動産の増加、住宅地の選別と淘汰、業務機能の再配置、新たな職住関係のあり方などを考えたい。
	都市計画論	長野 博一	本演習では、都市計画の制度論・計画論から都市を科学する方法を学習すると共に、「人々の暮らし」を常に意識した課題設定ができるよう、研究指導を行う。併せて、学術論文として提出できるよう指導を行う。
	農村計画	倪 鏡	本演習では、世界主要国の農業・農村政策を中心にその社会的・制度的な変遷を比較分析し、そのうえで日本における農山村地域が抱える諸問題について、課題解決に向けた理論的実証的研究を行う。
産業・経営	マーケティング	坪井 明彦	本演習では、マーケティング概念の拡張について検討した上で、サービスや非営利組織、地域などへの適用対象の拡張も含めて、さまざまな事例をマーケティングのフレームワークの中で考察する。
	開発経済学	黒川 基裕	「技術とデザインで途上国を彩る」というテーマに沿って、途上国の低所得者層を対象とした BOP 製品ならびにインクルーシブ・ビジネスに係る商品企画・開発に取り組む。また、途上国市場の特性を踏まえた既製品のローカライズ手法の研究にも取り組む。
	社会起業	八木橋 慶一	本演習では、社会問題の解決にビジネスの手法を用いて取り組む「社会起業」について研究する。理論や事例研究を踏まえた上で、調査により得られたデータを分析し、社会起業の実態を明らかにする。
	交通政策	小熊 仁	本演習は、交通分野について制度・理論の両面から論文作成に向けた基盤の構築を行う。併せて、これらを実証するため様々な分析手法を駆使し、学術論文として提出できるよう指導を行う。
行政・政治	現代政治学	増田 正	本演習では、先進国の統治過程を対象として、政治学的アプローチを用いて分析と考察を行う。政治、選挙、政策形成過程等に関する先行研究と理論動向をフォローするとともに、分析者独自のモデルづくりを行う。
	公共政策	佐藤 公俊	本演習では、社会科学の基本的な方法論と分析手法を踏まえた上で、公共政策のアプローチについて理解する。さらに政治学的アプローチを用いて、現代日本における公共政策の形成過程を実証的に分析する。
	政策評価	佐藤 徹	国及び地方自治体の政策等の評価制度を中心として、評価・計画・予算等の連動による行政経営や、住民参加や協働による自治体経営などをテーマに、行政学や政策科学からの理論的検討や、行政現場における実践的課題への対応を考究する。

研究領域	研究指導分野	担当教員	演習の概要
行政・政治	地方財政	中村匡克	本演習では、政治経済学の一分野である公共選択論の考え方について学びつつ、財政・地方財政ならびにそれらと表裏一体の関係にある各種の政策について研究する。また、計量分析の手法についても学び、データによる政策分析を行う。
	民法	金光寛之	本演習では、①民法に関する判例を分析し②分析した判例が日常でどのように役だっているかを考察する。また判例を通じて立法論的に法律改正が必要か否かについても分析したうえで法政策を考える。
	公共哲学	福間聡	本演習では、公共哲学・倫理学の観点から様々な社会政策の妥当性について考察を行う。公共哲学・倫理学の文献を読み解くと共に、それらの理論がどのように現実社会の諸問題に適用できるのかについて探究する。
	法学	鈴木陽子	本演習では憲法に規定されている権利や平等に関する諸問題について、権利保障の原理や権利をめぐる学術上の問題を踏まえ、判例や文献を通じて他国の比較も含めて分析し考察を行う。
環境・人間・福祉	環境科学	飯島明宏	本演習では、数理モデルを用いて環境影響物質の動態を解析し、環境問題の発生から影響に至るメカニズムを科学的に理解するとともに、環境政策の効果の予測や検証を目的とした実践的な研究に取り組む。
	生涯学習	櫻井常矢	本演習では、高齢化・人口減少や地方分権等による地域構造の変容、あるいは市民協働によるまちづくり等のもとで現れる市民の学習構造を多様な角度から分析し、求められる新たな地域生涯学習システムについて明らかにしていく。
	障害者福祉	熊澤利和	本演習では、社会福祉学の基本的な方法論や分析手法を踏まえたうえで、障害のある人への地域ケア／リハビリテーション、家族支援等における支援の形成過程を分析する。また、今後、求められる障害者に対するケアシステムについて考究する。
	地域社会学	佐藤彰彦	本演習では、人々の暮らしの基盤となる地域社会に生じるさまざまな出来事を、そこに作用する政治・行政・経済などのシステムとの相互関係から分析し、そこから得られる知見をどのように政策へと接合・展開していくかを考える。
	社会福祉	原史子	本演習では、社会福祉学のアプローチや社会福祉のしくみを踏まえたうえで、子ども・家庭にかかわる福祉的課題について実証的に分析し、支援のあり方を検討する。
	環境経済学	森田稔	本演習では、環境経済学的手法を用いて様々な環境問題について理論的・実証的に検証するための学習・研究指導を行う。併せて、学術論文として提出できるよう指導を行う。
文化・観光	地域史	西沢淳男	本演習では、時代区分にとらわれず地域を多角的に考察し、民衆史や生活史の中から、地域独自の歴史を発掘・叙述する地域史や歴史学を研究する。その基礎となる原史料を客観的に読み解き明らかにする。
	文化政策	友岡邦之	本演習では、地方自治体の文化政策を中心に、国内外の国レベルの文化政策も比較検討しながら、文化政策をめぐる歴史と制度の概要を理解する。その上で、近年の文化政策が抱える諸問題について課題解決に向けた研究を行う。

研究領域	研究指導分野	担当教員	演習の概要
文化・観光	エコツーリズム・グリーンツーリズム	片岡美喜	本演習では、自然資源及び農業・農村を活用した観光のあり方について、内外の（言説・事例の）比較分析を行い理解を深める。とくに実践主体のあり方や制度面に関して、地域性の違いに着目しつつ研究を行う。
	観光政策	安田慎	本演習では、日本国内・国外の観光政策を関連する資料やインタビュー調査を通じて分析することで、観光活動の持つ特性や諸問題を制度的・理論的に明らかにしていく。
	国際観光	丸山奈穂	本演習では地域の文化的資源の観光利用を中心に、それによって観光客や地域住民がどのような影響を受けているのかを多角的に考察する。そのうえで、質的研究もしくは量的研究を用いて観光の現状を調査し、よりよい観光の在り方を模索する。
	日本文化	鈴木耕太郎	本演習では、日本国内の民俗事象や日本文学（特に説話・伝承文学）などを端緒とした「日本文化」について、先行研究の整理を踏まえたうえで独創的な問いを設定し、論理的に解明する。また、実地調査（文献調査含む）と演習内での議論を重ねることで、問いに対する多様なアプローチを模索する。
	観光経営	外山昌樹	本演習では、観光関連産業や観光地の経営に関連する研究テーマについて、基本的な文献講読を行った上で研究課題と研究方法を検討し、研究成果を学術論文として取りまとめる。

注：入学志願票の「志望研究領域」欄には、10～12 ページの研究領域の中から1領域を選択して、記入してください。

地域政策研究科博士後期課程学生募集要項

I 募集人員等

1 募集人員 地域政策専攻 5人

(本研究科の合格基準を満たさない場合、合格者が募集人員を下回ることがあります。)

2 出願資格 次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位を有する者又は2025(令和7)年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者又は2025(令和7)年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号)
- (4) 本研究科において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2025(令和7)年3月31日までに24歳に達する者
 - 注1 修士の学位の種類は問いません。
 - 注2 出願資格取得見込みで出願した者が、2025(令和7)年3月31日までに取得できないことが確定した場合は、入学を許可しません。
 - 注3 出願資格(3)に該当する者とは、大学を卒業後又は外国において学校教育における16年の課程を修了後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、該当研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者をいいます。
 - 注4 出願資格(4)に該当する者には、大学を卒業した者のほか、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校を卒業した者や外国大学日本校、外国人学校等を修了した者等も含まれます。
 - 注5 出願資格(3)(4)によって出願する者は、事前審査を行いますので、後述の「II 事前審査」(14ページ)に基づく手続きをとってください。

3 選抜方法・試験科目等

入学者の選抜は、修士論文、研究計画書、口述試験及び提出書類により総合的に行います。

口述試験は「修士論文」及び「研究計画書」を中心に行います。

試験日(注1)	試験科目	試験時間(注2)
2025(令和7)年 2月16日(日)	口述試験(1人60分程度)	10:00~

(注1) 受験者は、午前9時30分までに試験場(高崎経済大学)に集合し、係員の指示に従ってください。

(注1)(注2) 集合時刻及び口述試験の開始時刻については、志願状況等により変更となる場合があります。

4 大学院博士後期課程 長期履修制度

職業を有していること等の事情により、標準修業年限3年を超えて一定期間にわたり教育課程を履修し、課程を修了することを認める制度です。

- (1) 申請対象者

本学大学院博士後期課程の受験を希望する者で、かつ次の各号のいずれかに該当する者。ただし、留学生は対象としません。

 - ① 職業を有し、就業している者
 - ② 家事、育児、介護等に当たる必要があるため、修学、研究の時間が制限される者
 - ③ その他、学長が認めた者
- (2) 長期履修期間

在学年限の範囲内の1年単位で定め、4年、5年又は6年とします。
- (3) 年間授業料

標準修業年限分の授業料を、履修することが認められた年限(4年、5年又は6年)で除した額とします。
- (4) 提出書類

出願時に長期履修生申請書(提出書類⑩)により申請してください。なお、提出書類⑩には、在職証明書(就労時間及び就労する曜日がわかるもの)等の修学、研究の時間が制限される事を証明する書類を添付してください。

※入学が許可された場合でも長期履修申請は不可になることもあります。

Ⅱ 事前審査（該当者のみ）

出願資格(3)(4)に基づく出願希望者について、出願資格の認定のため、次のとおり事前審査を行います。

1 手続方法

(1) 提出書類

書 類 等	備 考
① 志願理由書 ・ワープロソフトで作成したもの（A4判、本文3,200字以内）。 ・学歴・職歴、卒業論文・実務経験など、これまでの学習内容、大学院で研究しようとするテーマ、解明したい事項などを具体的に記述してください。	提出書類⑮
② 最終学歴の成績証明書 ・国外の学校の卒業生で、成績証明書が発行されない場合のみ、成績書のコピーを使用してもかまいません。その場合、 <u>当該コピーが原本と相違ないことを証明する大使館等の公的機関による証明が必要です。</u> また、日本語訳を必ず添付してください。	成績書の原本は受け付けません。
③ 研究計画書 ・ワープロソフトで作成したもの（A4判、3頁以内）。 ・大学院で研究しようとするテーマ、解明したい事項などを具体的に記述してください。	提出書類⑦
④ 修士と同等以上の学力を証明する論文、学位論文、主要学術論文 ・別刷（又は写し）を各3部添付してください。	左記の論文について、提出できるものをすべて提出してください。
⑤ 業績一覧書 ・学術論文、学会発表などの研究業績及び実務上の業績リスト（共同研究、共著、共同開発などの場合には、何を分担したかを付記してください）。	提出書類⑫
⑥ 研究・実務経験調書 ・ワープロソフトで作成したもの（A4判、本文2,000字以内）。 ・これまでの研究の概要又は実務経験・職務上の業績をまとめたもの。研究業績、実務経験・職務上の業績の両方にわたってもかまいません。	提出書類⑬
⑦ 審査結果送付用封筒 ・市販の封筒（長形3号）に住所、氏名、郵便番号を明記し、「審査結果在中」と朱書きした上で、410円分の切手を貼ってください。	

(2) 提出方法 本学所定の様式を用い、提出前に提出書類がすべてそろっていることを確認のうえ、市販の封筒（角形2号）に「地域政策研究科博士後期課程 事前審査書類在中」と朱書きし、下記の提出先へ「持参」又は「郵送（簡易書留・速達）」してください。本学所定の様式等を使用しない場合は受け付けません。

(3) 提出期間 2024（令和6）年12月11日（水）～12月18日（水）
○持参の場合 午前9時から午後5時まで（土曜日、日曜日及び祝日は受付を行いません。）
○郵送の場合 12月18日（水）の午後5時【**必着**】

(4) 提出先 〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300 高崎経済大学 入試広報グループ入試チーム

2 審査結果

事前審査の結果は、下記の日程で郵送により本人あてに通知します。

2025（令和7）年1月9日（木）

3 出願手続

事前審査により出願資格の認定を受けた者は、本募集要項に基づく出願手続（15～16ページ）を行ってください。

Ⅲ 出願手続等

1 出願手続

- (1) 出願方法 本学所定の様式を用い、提出前に提出書類がすべてそろっていることを確認のうえ、市販の封筒（角形2号）に本学ホームページからダウンロード・印刷した「出願用宛名ラベル」を貼付し、下記の出願先へ「持参」又は「郵送（簡易書留・速達）」してください。本学所定の様式等を使用しない場合は、出願を認めません。
- (2) 出願期間 2025（令和7）年1月20日（月）～1月27日（月）
 ○持参の場合 午前9時から午後5時まで
 （土曜日、日曜日及び祝日は受付を行いません。）
 ○郵送の場合 1月27日（月）の午後5時【**必着**】
- (3) 出願先 〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300 高崎経済大学 入試広報グループ入試チーム
- (4) 入学検定料 30,000円
 （本学ホームページからダウンロード・印刷した「入学検定料振込依頼書」により、金融機関（郵便局、ゆうちょ銀行除く）で納入してください。ただし、本学大学院博士前期課程修了見込みの者で、引き続き博士後期課程に入学を志願する者については不要です。なお、振込手数料は本人負担となります。）
 ※納入した入学検定料は、どのような理由があっても返還しません。ただし、次の①又は②に該当する場合は入学検定料を返還しますので、1月27日（月）までに、入試広報グループ入試チームまで問い合わせてください（振込手数料は本人負担となります）。
 なお、①②のほか、出願を受理しなかった場合は、本学から返還手続の案内を行います。
 ① 二重に納入した場合
 ② 入学検定料の納入後、出願手続をしなかった場合
- (5) 提出書類
 下記の【**志願者全員が提出する書類等**】及び【**該当者のみ提出する書類等**】を一括して提出してください。書類がすべてそろっていない場合及び書類に不備がある場合は受け付けません。
 また、出願手続後は、提出書類の返却及び記載事項の変更は認めません。ただし、氏名・住所・電話番号に変更があった場合は、事前に連絡をした後、変更事項を「簡易書留」で入試広報グループ入試チームまで郵送してください。

【志願者全員が提出する書類等】

書 類 等	備 考
① 入学志願票 ・写真2枚（同一の写真）は、B・C票の写真貼付欄の規定にしたがって貼ってください。入学検定料の振込連絡票はD票に貼ってください。	提出書類⑤、⑥
② 修士又は博士前期課程修了（見込）証明書 ・国外の学校の卒業生で、卒業証明書が発行されない場合のみ、卒業証書のコピーを使用してもかまいません。その場合、 <u>当該コピーが原本と相違ないことを証明する大使館等の公的機関による証明が必要です。</u> また、日本語訳を必ず添付してください。 （ただし、出願資格(3)(4)により出願する者は、学部等の卒業証明書）	卒業証書の原本は受け付けません。
③ 修士又は博士前期課程の成績証明書 ・国外の学校の卒業生で、成績証明書が発行されない場合のみ、成績書のコピーを使用してもかまいません。その場合、 <u>当該コピーが原本と相違ないことを証明する大使館等の公的機関による証明が必要です。</u> また、日本語訳を必ず添付してください。	成績書の原本は受け付けません。 事前審査を行った方は、提出不要です。
④ 研究計画書 ・ワープロソフトで作成したもの（A4判、3頁以内）。 ・大学院で研究しようとするテーマ、解明したい事項などを具体的に記述してください。	提出書類⑦ 事前審査を行った方は、提出不要です。
⑤ 修士論文又は主要学術論文 ・別刷（又は写し）を3部提出してください。	事前審査を行った方は、提出不要です。
⑥ 受験票送付用封筒 ・市販の封筒（長形3号）に住所、氏名、郵便番号を明記し、「受験票在中」と朱書きした上で、410円分の切手を貼ってください。	

【該当者のみ提出する書類等】

該 当 者	書 類 等	備 考
提出可能な志願者（全員）	業績一覧書 ・学術論文、学会発表などの研究業績及び実務上の業績リスト（共同研究、共著、共同開発などの場合には、何を分担したかを付記してください）。	提出書類⑫ 事前審査を行った方は、提出不要です。
	研究・実務経験調書 ・ワープロソフトで作成したもの（A4判、本文2,000字以内）。 ・これまでの研究の概要又は実務経験・職務上の業績をまとめたもの。研究業績、実務経験・職務上の業績の両方にわたってもかまいません。	提出書類⑬ 事前審査を行った方は、提出不要です。
日本国籍を有しない者（全員）	住民票の写し ・日本国内の市区町村発行の在留資格を明記したもの ・マイナンバー（個人番号）の記載がないもの	コピー不可
長期履修申請者（全員）	長期履修生申請書	提出書類⑩
	在職証明書（就労時間及び就労する曜日がわかるもの）等の修学、研究の時間が制限される事を証明する書類	様式は問いません。

2 試験日 2025（令和7）年2月16日（日）

3 試験場 高崎経済大学

4 合格発表 2025（令和7）年2月21日（金）

合格者には、郵送により本人あて（入学志願票の現住所）に合格通知書を送付します。併せて、合格発表日の午前10時から一定期間、合格者の受験番号を本学ホームページに掲載しますが、合格通知書をもって正式な通知とします。電話等での合否の問い合わせには応じません。

5 入学手続

(1) 手続方法 入学手続期間内の決められた時刻までに、入学料を納入し、入学手続書類を下記の手続先へ「持参」又は「郵送（簡易書留・速達）」してください。詳細は、合格通知書同封の「入学手続の手引き」でお知らせします。

(2) 手続期間 2025（令和7）年2月21日（金）～3月7日（金）
○持参の場合 午前9時から午後5時まで（土曜日、日曜日及び祝日は受付を行いません。）
○郵送の場合 3月7日（金）の午後5時【必着】

(3) 手続先 〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300 高崎経済大学 入試広報グループ入試チーム

(4) 入学料

納 入 金	金 額	備 考
入 学 料（注1）	282,000円	高崎市内在者（注2）及び本学卒業生は141,000円

上記の額は、2024（令和6）年4月1日現在のもので、改定することがあります。納入方法等は「入学手続の手引き」でお知らせします。

※本学大学院博士前期課程修了見込みの者又は本学大学院博士前期課程を2024（令和6）年9月に修了した者で、引き続き博士後期課程に入学する者については、入学料は不要となります。

（注1）納入した入学料は、どのような理由があっても返還しません。ただし、次の①又は②に該当する場合は入学料を返還しますので、3月7日（金）までに、入試広報グループ入試チームまで問い合わせてください（振込手数料は本人負担となります）。

① 二重に納入した場合

② 入学料の納入後、入学手続をしなかった場合

（注2）高崎市内在者とは、2025（令和7）年4月1日現在において、本人自身、その者の配偶者又は1親等の親族が、引き続き1年以上高崎市に住所を有する者（2024（令和6）年4月1日から2025（令和7）年4月1日まで引き続き高崎市に住民登録のある者）をいいます。

なお、高崎市内者は入学料の納入に関して確認手続きがあります。詳細は「入学手続きの手引き」でお知らせします。

- (5) 合格者が、入学手続き期間内に入学手続きを完了しない場合は、合格者としての権利を失うとともに、入学辞退者として取り扱います。

6 入学料以外の入学初年度納入金

納 入 金		金 額	備 考
授業料	前 期	260,400 円	4 月徴収予定
	後 期	260,400 円	10 月徴収予定
諸 会 費 等	学生教育研究災害傷害保険料	2,600 円	入学時（3年間分）
	学会費	6,000 円	入学時（3年間分）
	後援会費（注）	37,500 円	入学時
	同窓会費（注）	20,000 円	入学時
小 計		66,100 円	
合 計		586,900 円	

上記の額は、2024（令和6）年4月1日現在のもので、改定することがあります。改定が行われた場合には、改定後の授業料及び諸会費等が適用されます。納入方法等は、「入学手続きの手引き」でお知らせします。

（注）後援会費及び同窓会費について、すでに納入した本学卒業生又は本学大学院博士前期課程修了者（修了見込者を含む）は不要です。

7 個人情報の取り扱い

出願及び受験に伴う個人情報は、入学者の選抜（統計処理などの付随する業務を含む）に使用します。また、入学者については、教務関係、学生支援関係及び授業料等徴収関係に関する業務を行うために使用します。なお、以上の業務にあたり、一部の業務を個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。

8 その他

- (1) 障害のある者等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性のある志願者は、出願の前にあらかじめ入試広報グループ入試チームに相談してください。
- (2) 授業料の減免又は分割納入については本学学生支援チームにお問い合わせください。

高崎経済大学 教育グループ学生支援チーム

T E L 027-344-6262（直通）

E-mail gakusei@tcue.ac.jp

- (3) 奨学金については、本学ホームページ「キャンパスライフ」－「学費・奨学金等」を確認し、詳細は、日本学生支援機構、教育グループ学生支援チーム又は出身大学等に問い合わせてください。奨学金を利用する場合は、事前に内容、時期等を関係機関で確認してください。

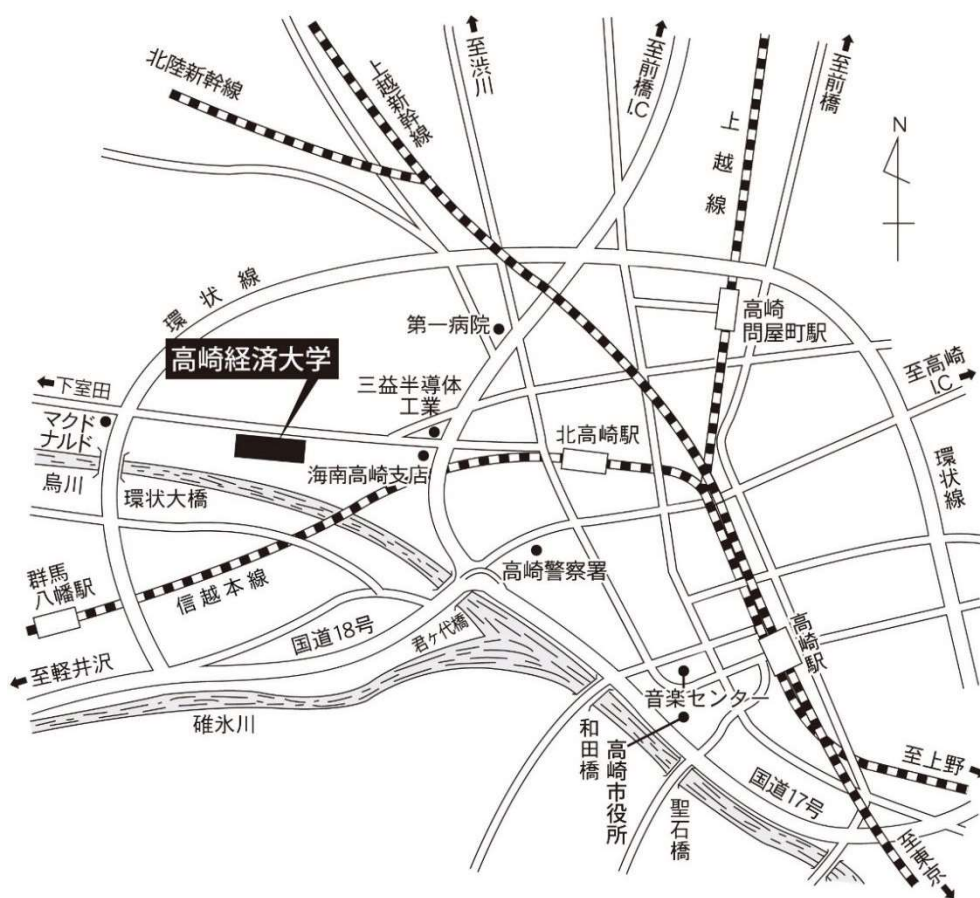
IV 研究指導教員の概要

入学を許可された場合には、下記の研究指導分野から必ず1つ選択し、併せて同担当教員の特別演習を必ず履修しなければなりません。

研究指導分野・講義	担当教員	講義等の内容
政策評価特別演習 政策評価研究指導	佐藤 徹	科学的な方法論を用いて、現実の政策を分析評価する。あるいは、行政学や政策科学等の知見をもとに、国の政策評価制度及び自治体の行政評価制度への多角的検討を行う。さらに、計画・予算・組織・人材育成・参加協働などの観点から、公共経営のあり方を探究する。
現代政治学特別演習 現代政治学研究指導	増田 正	各自の研究領域において、高度で専門的な政治学的アプローチを用いて、現代政治システムの分析と考察を行う。先行研究の綿密なレビューの上に、統計解析またはヒアリング調査を義務付けることにより、オリジナルな知見を獲得できるようにする。
地域史特別演習 地域史研究指導	西沢 淳 男	歴史学の実証仕法として、良質な史料を探訪し、客観的に解釈し理論を補強、新たな知見を見出せる研究を指導する。この前提として、研究史と残存史料の徹底把握を行い、独創的な研究のためには何が必要であるかを十分認識した上で、研究を進める。
環境科学特別演習 環境科学研究指導	飯島 明 宏	環境問題に関連する事象に統計モデルをあてはめ、問題の発生から影響に至るメカニズムを科学的に探求するとともに、環境政策の効果の予測や検証を目的とした実践的な研究に取り組む。
都市地理学特別演習 都市地理学研究指導	佐藤 英 人	都市地理学の基本的な研究視角である都市内部構造論や都市システム論を援用しながら、都市地域のさまざまな地理的事象を分析する。なかでも、現代の都市問題に焦点を合わせ、現地調査に基づく実証的研究を目指していく。

注：入学志願票の「志望研究指導分野」欄には、必ず上記の特別演習・研究指導の中から1分野を選択して、記入してください。

高崎経済大学大学院案内図



【交通】

○高崎駅西口から群馬バス（2番乗場）で約20分
本郷経由室田行 } 「経済大学前」下車
沖経由箕郷行 }
榛名湖行 }

○高崎駅西口から市内循環バスぐるりん（4番乗場）で約20分
系統番号3 経大先回り「高経大前」下車

問い合わせ先

〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300番地
高崎経済大学 入試広報グループ入試チーム
TEL 027-343-5417 (代表)
027-344-6265 (直通)
FAX 027-344-7892
E-mail nyushi@tcue.ac.jp
ホームページアドレス <https://www.tcue.ac.jp/>

入試当日の緊急連絡は 027-343-5417 (代表) へお願いします。